

堺市子ども読書活動推進事業

もめたらいにな
くちねんせい



本はともだち



堺っ子読書活動

堺市立図書館 平成20年4月発行

「としょかんライオン」<えほん>

ミシェル・ヌードセン / さく ケビン・ホークス / え 岩崎書店

あるひ、としょかんにライオンがやってきました。

でも、だいじょうぶ。

ライオンだって、きまりをまもれば、としょかんにきていいのです。

ライオンは、みんなのにんきものになりました。

ところが、ライオンが きまりをやぶってしまいました。

「むしのおんがくがっこう」<えほん>

青山邦彦 / 作 あかね書房

おんがくがだいすきな テントウムシが、おんがくがっこうにはいりたくて やってきました。

でも、こうちょうせんせいはまゆをしかめました。

そして バッタやセミたちのれんしゅうをみせて、こんなふうになくことができるかたずねました。

なくことのできないテントウムシは がっかりして、がっこうからでていきました。

かなしくて、どこまでもとんでいった テントウムシが たどりついたところは……

「あるひ あひるが あるいていると」<よみもの>

二宮由紀子 / 作 理論社

このほんには 5つのおはなしがはいっています。

それぞれ「あ」「い」「う」「え」「お」がはじめにつくことばだけがかかれています。ほんとかな？

ばんけんやまる 「番犬屋マル」<よみもの>

きたやまようこ / 著 メディアファクトリー

ねてびっくりいるいぬのマルは、とくいなことが ありませんでした。

でも、あるひ、「いぬ」というだけでできそうな「ばんけんや」というしょうばいをはじめることになりました。

「どっちがどっち！？にたものずかん」<ちしきのほん>

高岡昌江 / 構成・文 友永たろ / 絵 学習研究社

「チーター」と「ヒョウ」はどうちがうの？「ヒラメ」と「カレイ」はどうちがうの？

よくにたどうぶつを、くらべてせつめいしているほんです。おなじようでも、にているところ、にていないところがあって、よーく、くらべるとおもしろいですよ。

ほかにもいろいろ

<えほん>

「よにもふしぎな 本をたべる おとこのこの はなし」

オリヴァー・ジェファーズ / 作 ヴィレッジブックス

「うえきばちです」

川端誠 / 作 BL出版

「おさるのかくれんぼ」

いとうひろし / 作・絵 講談社

<よみもの>

「あかりちゃん」

あまんきみこ / 作 文研出版

「たからものはランドセル」

野里寿子 / 作 汐文社

「わらいボール」

赤羽じゅんこ / 作 あかね書房

「はれときどきアハハ」

矢玉四郎 / 作・絵 岩崎書店

<ちしきのほん>

「ちかちゃんのきゅうしょく 食物アレルギーのおはなし」

光本多佳子 / 著 かもがわ出版

「トイレのおかげ」

森枝雄司 / 写真・文 はらさんぺい / 絵 福音館書店

「^{あやこ} ^{まな} ^こ親子で学ぶ「^{ぼうはん}子どもの防犯」ワークブック」

東京書籍